

平成29年度事業計画

概 要

世界の政治経済が先行き不透明感を増している中、日本経済の現状は踊り場を脱しつつあり、当面は緩やかに回復するとの見通しとなっています。また、平成28年度の現政権は「成長と分配の好循環」を掲げ、「経済成長でデフレ脱却を目指す」という基本方針を維持し、「世界経済の新しい成長軌道への挑戦」「地方創生への挑戦」「一億総活躍への挑戦」「より良い世界への挑戦」などの「四つの挑戦」を重要課題として位置付けて、経済最優先の姿勢を示しています。一方、新潟県内の経済の動向は、全般的に一進一退の状況が続いており、景気の先行きは生産や個人消費面を中心に停滞感の強まりが懸念されます。

このような中、設立20周年を迎えた当センターの平成28年度の事業実績は、会員数は横ばい、契約金額では新規受注がある中で一部契約見直しの案件が発生し、年度末の事業実績は大幅なマイナスを見込んでいます。また、受注件数では請負委任において前年比マイナスと大幅に減少しています。さらに安全就業においては従来通り「安全第一」を最優先してきた結果、重篤事故ゼロを更新中です。

この状況を踏まえた平成29年度は、「中期3ヶ年計画」の最終年を迎え、平成27年度、平成28年度の総括を行い、山積する諸課題に積極的に取り組んで行かなければなりません。

具体的には、「会員の増強」「就業開拓」「後継者の育成」「組織の活性化」は喫緊の重要課題であり、積極的な行動による結果が求められます。また前述の4課題にさらに「適正就業」並びに「会員の意識改革」を重要課題として加え、組織の活性化に向け、額に汗して活動しなければなりません。全ての重要課題が目新しい項目ではなく、現状を注視しながら地道に解決しなければなりません。これら山積する諸課題を克服するためには、会員はじめ役職員が意思疎通を図り、活力ある組織を目指して積極的に活動しなければなりません。さらにこれらを確実に推し進めるため阿賀町をはじめ関係機関、町民の皆様のご理解とご支援をいただきながら、お客様から信頼される仕事ぶりで多種多様なニーズにお応えし、基本理念である「自主・自立・共同・共助」に基づき、地域社会に貢献してまいります。

<基本方針>

- 1 組織体制の充実と強化
- 2 安全就業と健康管理の徹底
- 3 普及啓発活動の推進
- 4 就業開拓の強化
- 5 就業に関する技術・技能・知識の習得
- 6 適正就業の徹底
- 7 会員相互の交流活動の推進
- 8 事務局体制の整備
- 9 関係機関との連携強化

<実施計画>

- 1 組織活動の充実・強化
 - (1) 理事会・班長会議・地域懇談会等の一層の充実により、センター全体の活性化に努めると共に理事会・事務局・地域班等の連携を強化する。
 - (2) 各委員会活動を見直し機能化を図る。
 - (3) 会員の資質の向上。
- 2 安全就業と健康管理の徹底
 - (1) 就業にあたっては「安全第一」を心がけ、事故防止のため「安全就業基準」「適正就業基準」の周知徹底を図る。
 - (2) 就業途上等の交通事故の防止。
 - (3) 安全に関する講習会等の開催により安全意識の高揚を図る。
 - ・安全大会
 - ・作業用機械安全取扱講習
 - ・普通救急救命講習
 - ・冬季安全就業講習
 - ・運転業務就業のための講習
 - ・その他の講習会
 - (4) 会員各自が病気やけがに注意し体調維持に努めると共に、年1回健康診断を受けることを奨励する。
- 3 普及啓発活動の推進
 - (1) 会員による口コミ活動を展開する。
 - (2) 会員強化地域を設定しチラシ等の配布を行う。
 - (3) 誠意ある、丁寧な就業によりイメージアップを図る。
 - (4) ボランティア活動（環境整備等）を実施する。

4 就業開拓の強化

- (1) 会員による口コミ活動を展開する。
- (2) 効果的なチラシ配布を実施する。
- (3) 役職員による地域内事業所等への訪問による啓発活動の展開。
- (4) シルバー派遣事業の推進。
- (5) 有料職業紹介事業の活用。

5 就業に関する技術・技能・知識の習得。

- (1) 先輩会員による後継者の育成活動の展開。
- (2) 会員の就業に繋がる技術・技能・知識の向上を図るため次の講習会を行う。
 - ☆ 庭木の剪定講習
 - ☆ 庭木の雪囲い講習
 - ☆ 作業用機械安全取扱講習
 - ☆ 襖・障子張り講習

6 適正就業の推進

- (1) 長期就業を回避するためローテーション就業の徹底を図る。
- (2) 就業機会の公平化を図る。
- (3) 未就業会員の解消に努める。
- (4) シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の普及啓発活動の展開。

7 会員の福利厚生（交流活動）

- ※ 会員の相互理解と就業意欲の向上を図るため次の活動行う。
 - ☆ 会員親睦旅行
 - ☆ 会員新年交流会
 - ☆ 他センターの活動情報の提供に努めると共に、リーダー育成に努める
 - ☆ その他自主的交流活動

8 事務局体制の整備

- (1) 職員の事務分掌を整理し、事務処理能力の共有化、互換性を高め企画力、判断力の向上を図る。
- (2) 事務の効率化、簡素化を図り、正確な事務処理に努める。
- (3) 予算の執行にあたり経費節減に努める。

9 関係機関との連携強化

- (1) 地元自治体（阿賀町）との情報交換、連携に努める。
- (2) 新潟県シルバー人材センター連合会および県内外の活動拠点等との情報交換、連携を図り健全なる事業の発展に努める。